第４章　個別施設計画

４　スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設・観光交流施設）

NO.	施設名称	NO.	施設名称
1	多目的体育館（うだつアリーナ）	14	美馬市移住おためし住宅
2	岩倉国民体育館	15	森林空間活用施設（リバーサイドしでの家）
3	すぱーく脇	16	創作施設（しらたえ工房）
4	穴吹スポーツセンター（穴吹スポーツ広場）	17	穴吹交流宿泊施設（ブルーヴィラあなぶき）
5	穴吹ふれあいスポーツ公園	18	穴吹貸別荘施設
6	水辺の楽校	19	木屋平特産物販売センター
7	伝統工芸体験館（脇町観光文化資料館）	20	木屋平林業総合センター
8	脇町劇場	21	木屋平交流施設（つるぎの湯大桜）
9	夏子農林水産物直売･食材供給施設（夏子いなか市）	22	簡易宿泊施設一の森ヒュッテ
10	大谷直売市場（直売所）	23	中尾山森林総合利用施設
11	美村総合交流促進施設	24	中尾山健康増進施設
12	観光交流センター	25	中尾山民俗資料館
13	吉田家		

４-１　スポーツ・レクリエーション系施設（スポーツ施設）

（１）施設概要

施設名称	多目的体育館（うだつアリーナ）	所属課	文化・スポーツ課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	スポーツ施設
所在地	脇町新町字鴨地 196 番地	総延床面積（㎡）	5,682.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
多目的体育館（うだつアリーナ）	5,682.00	RC 造	平成 12 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	長期的に利用する場合は、今後、大規模な改修工事が必要になる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	本施設は、多くの利用があり、本市最大の体育館であるため、老朽化すれば大規模改修や建て替えを検討する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		アリーナ	
施設 2 階 天井に漏水の痕跡あり		トレーニング室	

（１）施設概要

施設名称	岩倉国民体育館	所属課	文化・スポーツ課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	スポーツ施設
所在地	脇町別所 3406 番地	総延床面積（㎡）	900.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
岩倉国民体育館	900.00	S 造	昭和 52 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化による修繕箇所が増加してきている。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	これまで岩倉中学校の体育館の代用施設として利用されてきたが、中学校の体育館が新設されたため、除却を行う。
計画期間	第 1 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		岩倉国民体育館（左） 岩倉中学校体育館（右）	
施設外部 鉄部に発生、窓ガラスに破損あり		施設内部	

（１）施設概要

施設名称	すぱーく脇	所属課	文化・スポーツ課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	スポーツ施設
所在地	脇町字西赤谷 2678 番地 2	総延床面積（㎡）	1,119.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
すぱーく脇	1,119.00	S 造	平成 7 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	老朽化による修繕箇所が増加してきている。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	老朽化による修繕は行うが、利用団体も減ってきているため、今後の利用状況次第では廃止・除却等を検討する。
計画期間	―

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
施設内部		トイレ	

（１）施設概要

施設名称	穴吹スポーツセンター（穴吹スポーツ広場）	所属課	文化・スポーツ課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	スポーツ施設
所在地	穴吹町穴吹字薮ノ下 5 番地	総延床面積（㎡）	2,154.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
穴吹スポーツセンター	2,141.00	SRC 造	昭和 63 年度	新
公衆便所	13.00	S 造	平成 6 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	長期的に利用する場合は、今後、大規模な改修工事が必要になる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
施設内部 健康相談室		公衆便所 屋根材に劣化あり	

（１）施設概要

施設名称	穴吹ふれあいスポーツ公園	所属課	文化・スポーツ課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	スポーツ施設
所在地	穴吹町口山字馬内１番地１	総延床面積（㎡）	509.12

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
管理事務棟	285.12	木造	平成４年度	新
待機所	186.00	S 造	平成４年度	新
倉庫	21.00	S 造	平成 21 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	長期的に利用する場合は、今後、大規模な改修工事が必要になる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部	
施設内部		倉庫	

４-２　スポーツ・レクリエーション系施設（観光交流施設）

（１）施設概要

施設名称	水辺の楽校	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	美馬町字竹ノ内地先	総延床面積（㎡）	154.00

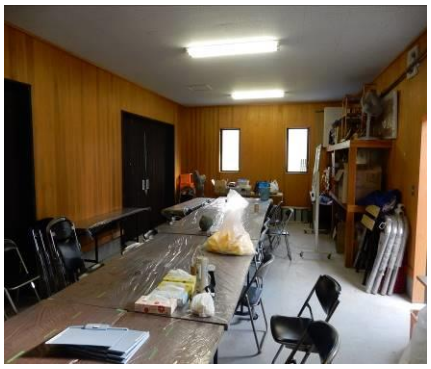
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
管理棟	54.00	木造	平成 20 年度	新
体験棟	45.00	木造	平成 22 年度	新
公衆便所	20.00	RC 造	平成 20 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、指定管理による維持管理を行っており、今のところ、大きな問題はない。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	本施設は、指定管理による維持管理を行っており、体験型観光の拠点施設である。また、公衆便所の機能も兼ねているため、今後も適切な維持管理のもと継続して使用する。
計画期間	―

（４）現地画像

施設全景 管理棟（右） 体験棟（左）		施設裏側 管理棟（左） 体験棟（右）	
管理棟内部		公衆便所 管理棟裏側	

（１）施設概要

施設名称	伝統工芸体験館（脇町観光文化資料館）	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町大字脇町字突抜町 92 番地	総延床面積（㎡）	376.46

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
伝統工芸体験館（脇町観光文化資料館）	376.46	RC 造	昭和 36 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	利用頻度が高い施設であるが、老朽化が進み、また、耐震性がない施設である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		製作体験工房	
資料室		研修室	

（１）施設概要

施設名称	脇町劇場	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町大字猪尻字西分 140 番地 1	総延床面積（㎡）	612.17

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
脇町劇場	612.17	木造	昭和 9 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、昭和９年建築であり、過去に大規模改修を行ったが、改修後すでに 20 年以上経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設玄関	
施設内部		舞台	

（１）施設概要

施設名称	夏子農林水産物直売・食材供給施設（夏子いなか市）	所属課	農林課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町字西俣名 2585 番地 11	総延床面積（㎡）	165.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
夏子農林水産物直売・食材供給施設（夏子いなか市）	165.00	木造	平成 10 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	年々、施設の老朽化・劣化に伴う修繕費が増加しているため、施設を継続維持するために、適切な管理・修繕を行う必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設 1 階	
施設 2 階		施設地階	

（１）施設概要

施設名称	大谷直売市場（直売所）	所属課	農林課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町字西大谷 64 番地 1	総延床面積（㎡）	75.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
大谷直売市場（直売所）	66.00	木造	平成 5 年度	新
公衆便所	9.00	木造	平成 5 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	年々、施設の老朽化・劣化に伴う修繕費が増加しているため、施設を継続維持するために、適切な管理・修繕を行う必要がある。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		床材に亀裂あり	
地盤沈下あり		公衆便所	

（１）施設概要

施設名称	美村総合交流促進施設	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町字東大谷 18 番地	総延床面積（㎡）	1,112.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
管理宿泊棟	465.00	木造	平成 10 年度	新
厨房浴室棟	297.00	RC 造	平成 10 年度	新
コテージ	350.00	木造	平成 10 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	建築後 20 年近くが経過しており、雨漏り等の老朽化が進んできている。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		管理宿泊棟 雨樋に破損、 詰まりあり	
研修室		コテージ	

（１）施設概要

施設名称	観光交流センター	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町大字脇町字突抜町 45 番地 1	総延床面積（㎡）	229.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
東棟	119.00	木造	不明	不明
西棟	61.00	木造	不明	不明
南棟	49.00	木造	平成 27 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	うだつの町並みの観光の中心施設であるが、維持管理費等が高額である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		東棟	
西棟		南棟	

（１）施設概要

施設名称	吉田家	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町大字脇町字突抜町 52 番地	総延床面積（㎡）	1,233.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
主屋	661.00	木造	不明	不明
観光情報ステーション	127.00	木造	不明	不明
藍蔵	195.00	木造	不明	不明

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、建物は寄贈を受け市所有であるが、敷地は賃借している。市指定文化財のため、当時の外観を維持する必要があり、台風災害等のため漆喰白壁を 2 年に 1 回程度、修繕が必要となっている。また、地区の景観保護のため、頻繁に修繕等が必要な施設である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

主屋		観光情報ステーション	
藍蔵		土蔵（質蔵・中蔵）	

（１）施設概要

施設名称	美馬市移住おためし住宅	所属課	移住･定住促進課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	脇町字西赤谷 2230 番地 5	総延床面積（㎡）	104.69

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
住宅移住者促進住宅（旧脇町診療所医師住宅）	104.69	木造	昭和 55 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設の屋根、防草シートに若干の老朽化が見られており、今後修繕が必要となることが予想される。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		擁壁の一部に崩落あり	
台所		洋室	

（１）施設概要

施設名称	森林空間活用施設（リバーサイドしでの家）	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	穴吹町口山字仕出原 175 番地 1	総延床面積（㎡）	136.73

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
森林空間活用施設（リバーサイドしでの家）	136.73	木造	平成 14 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	築 15 年近く経過しているが、施設の稼働期間が夏期・秋期に限るためか、修繕箇所は少ない状況である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設外部		屋根	

（１）施設概要

施設名称	創作施設（しらたえ工房）	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	穴吹町口山字首野 540 番地	総延床面積（㎡）	151.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
創作施設（しらたえ工房）	151.00	木造	平成元年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、敷地は民間から無償借受けしており、建物は市所有の施設である。現在、利用は全くない状況である。
基本的な方針	除却等を行う。
基本的な考え方	利用がないため、廃止・除却を行う。
計画期間	第１期マネジメント計画期間

（４）現地画像

施設全景		軒天 天井材に崩落あり	
軒天 天井材に崩落、雨樋に破損あり		支柱に蟻害あり	

（１）施設概要

施設名称	穴吹交流宿泊施設（ブルーヴィラあなぶき）	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	穴吹町口山字丸山１番地	総延床面積（㎡）	1,980.87

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
穴吹交流宿泊施設（ブルーヴィラあなぶき）	1,413.87	S 造	平成 9 年度	新
会議棟	317.00	木造	平成 10 年度	新
バーベキューハウス	250.00	木造	平成 16 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	築 20 年近く経過しており、平成 29 年度に地方創生交付金を利用し、大規模改修を実施している。温浴・宿泊施設であることから、定期的な修繕が必要となり、多額の投資が必要となる施設である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景			

（１）施設概要

施設名称	穴吹貸別荘施設	所属課	観光課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	穴吹町口山字丸山 477 番地	総延床面積（㎡）	216.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
穴吹貸別荘施設（コテージ清流の郷、Ａ～Ｃ棟）	125.00	木造	平成 14 年度	新
穴吹貸別荘施設（コテージ清流の郷、Ｄ棟）	70.00	木造	平成 14 年度	新
管理棟	21.00	木造	平成 14 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	築 15 年近くが経過しており、建物本体だけでなく、備品等の老朽化も進んでいる。宿泊施設であることから、定期的な修繕が必要な施設である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

コテージ		コテージ内部	
管理棟		管理棟内部	

（１）施設概要

施設名称	木屋平特産物販売センター	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字川井 25 番地 4	総延床面積（㎡）	161.54

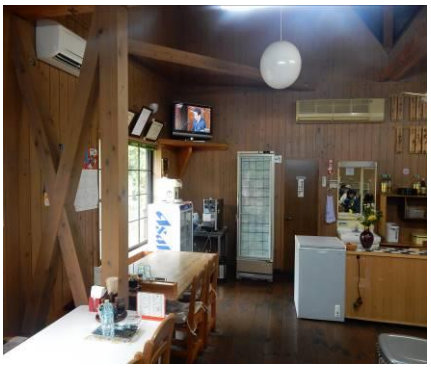
（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
木屋平特産物販売センター	161.54	木造	平成 8 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、指定管理施設である。平成 8 年度国庫補助金で建設し、耐用年数が残り 4 年である（木造：耐用年数 25 年）。老朽化が進み、修繕が増加している。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設外部	
施設内部		施設内部	

（１）施設概要

施設名称	木屋平林業総合センター	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字太合カケ 445 番地 1	総延床面積（㎡）	217.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
木屋平林業総合センター	217.00	木造	平成 5 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、中尾山高原内にあり、直営施設である。平成 5 年度国庫補助金で建設し、耐用年数が残り 1 年である（木造：耐用年数 25 年）。老朽化が進み、修繕が必要である。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		外壁 壁材に破損あり	
施設内部		天井	

（１）施設概要

施設名称	木屋平交流施設（つるぎの湯大桜）	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字川井 270 番地	総延床面積（㎡）	574.19

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
木屋平交流施設（つるぎの湯大桜）	574.19	木造	平成 10 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、指定管理施設である。平成 10 年度国庫補助金で建設し、木造 2 階建てである。老朽化が進み、修繕が必要となっており、特に風呂と浄化槽は、もっとも老朽化が進んでいる。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		施設内部 1 階	
施設内部 1 階		施設内部 2 階	

（１）施設概要

施設名称	簡易宿泊施設一の森ヒュッテ	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字川上カケ 571 番地	総延床面積（㎡）	259.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
簡易宿泊施設一の森ヒュッテ	259.00	木造	昭和 48 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、70 年の歴史があり、登山客をはじめ、多くのファンを有している。築 44 年ほど経過し、老朽化も目立ってきているが、適切な修繕を行い、本市の観光施設として、今後も適切な維持管理を行う。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

施設全景		トイレ	
屋根		施設西側	

（１）施設概要

施設名称	中尾山森林総合利用施設	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字太合カケ 445 番地 1	総延床面積（㎡）	1,649.10

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
平成荘	697.15	木造	昭和 63 年度	新
グラススキー管理棟	100.00	木造	平成 2 年度	新
コテージ（柊）	95.66	木造	平成 7 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、指定管理施設である（コテージ 10 棟、平成荘、ログハウス休憩所、バーベキューハウス、グラススキー管理棟 2 棟を、総称して中尾山森林総合利用施設と呼ぶ）。いずれの施設も老朽化が進んでおり、修繕箇所が増加している。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

平成荘		グラススキー管理棟	
コテージ		中尾山ログハウス休憩所	

（１）施設概要

施設名称	中尾山健康増進施設	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字太合カケ 445 番地 1	総延床面積（㎡）	1,032.53

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
体育館	585.00	木造	平成 4 年度	新
バンガロー管理事務所	49.00	木造	昭和 60 年度	新
研修センター	108.60	S 造	昭和 54 年度	旧

（３）基本的な方針等

管理上の課題	本施設は、指定管理施設である。研修センターが一番古く国庫補助金で建設し、木造体育館が一番新しい施設であるが、いずれの施設も老朽化が進んでおり、修繕箇所が増加している。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。ただし、老朽化が著しく、利用がないバンガロー管理事務所及び研修センターは、除却を行う。
計画期間	第 2 期マネジメント計画期間

（４）現地画像

体育館		体育館内部 天井に漏水の痕跡あり	
バンガロー管理事務所		研修センター	

（１）施設概要

施設名称	中尾山民俗資料館	所属課	経済建設課
類型	スポーツ・レクリエーション系施設	種別	観光交流施設
所在地	木屋平字太合カケ 445 番地 5	総延床面積（㎡）	305.00

（２）施設を構成する主な建物

建物名称	延床面積（㎡）	構造	建築年度	新・旧耐震基準 耐震化等工事
中尾山民俗資料館（鉄骨）	194.00	S 造	平成元年度	新
中尾山民俗資料館（萱葺き）	111.00	木造	昭和 63 年度	新

（３）基本的な方針等

管理上の課題	萱葺き屋根の葺き替えを行っており、きれいな保存状態である。指定管理施設ではないため、適切な管理ができていない状況である。施設の戸を開けて空気の入れ換えを定期的に行いたいところであり、現在、定期的に実施できる方法を検討している。
基本的な方針	計画的かつ適切な方法により維持管理を行う。
基本的な考え方	可能な限り長期間使用するため、施設に老朽化や劣化が確認されてから対応する事後保全ではなく、計画的な予防保全の考え方を導入し、今後適切な維持管理・修繕等を推進する。
計画期間	－

（４）現地画像

中尾山民俗資料館（鉄骨）		中尾山民俗資料館（鉄骨）内部 床材に剥離あり	
中尾山民俗資料館（萱葺き）		中尾山民俗資料館（萱葺き）内部	